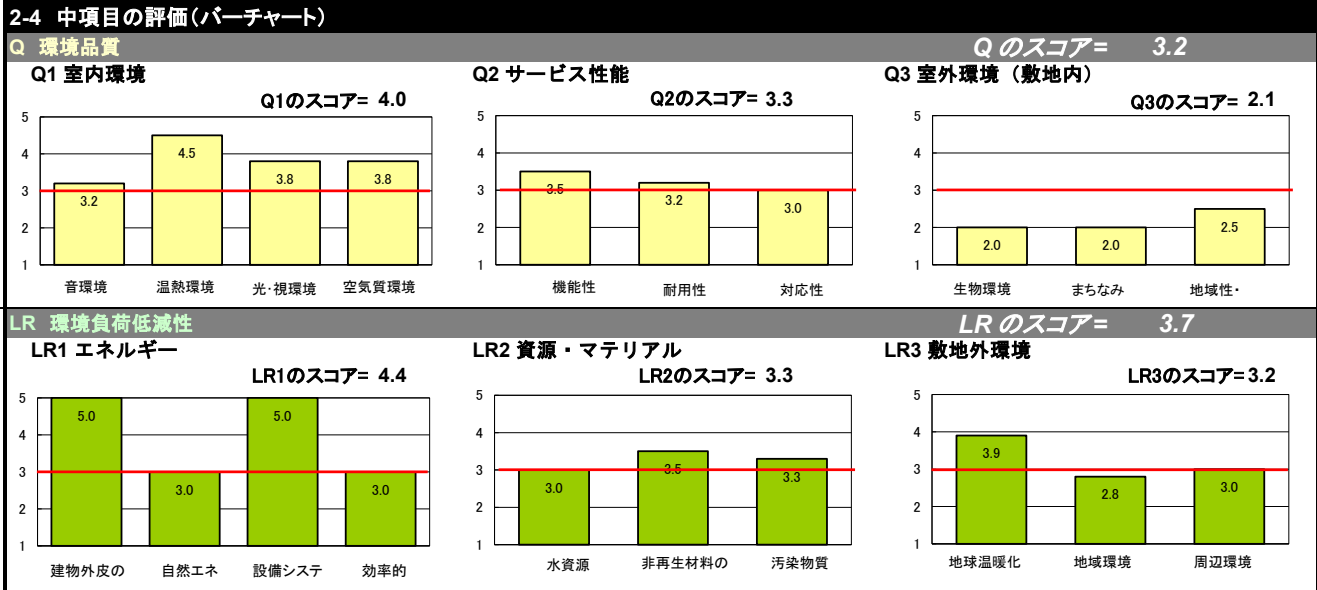
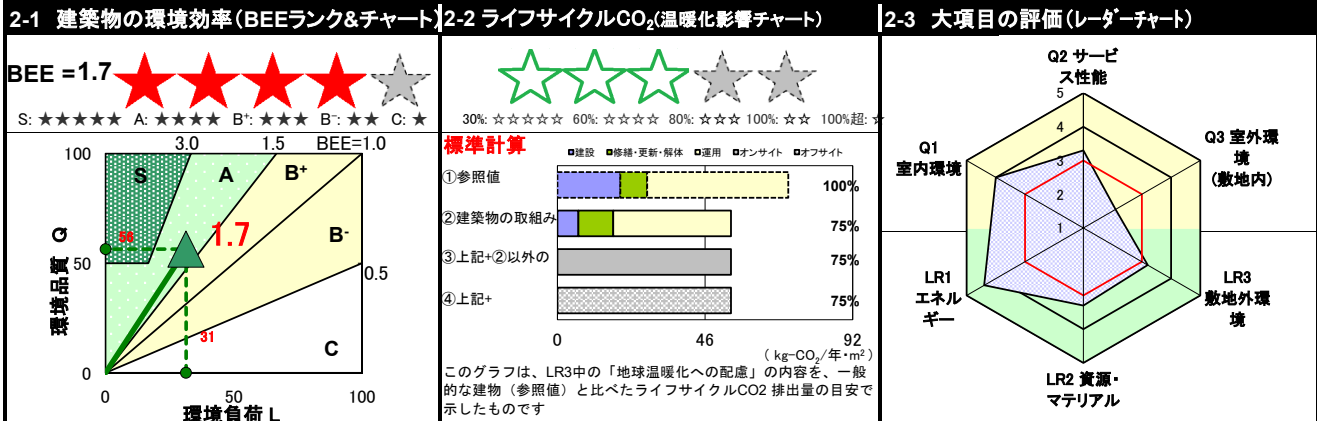


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンスロジェ博多区堅粕三丁目	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市博多区堅粕三丁目6番	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	268 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2024年6月14日
敷地面積	4,412 m ²	作成者	株式会社日企設計
建築面積	945 m ²	確認日	2024年6月17日
延床面積	10,280 m ²	確認者	株式会社日企設計



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物利用者の快適な生活環境を維持するため建築物の耐用年数を高め、省エネルギー性等で環境に配慮している		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
断熱性能等級 等級5を取得することで高い外皮性能を有し、F☆☆☆☆の建材を全面的に使用し室内環境に配慮	劣化対策等級 等級3の取得、更新必要間隔の長い給排水配管の使用で建物の耐用年数に配慮 情報社会に対応し大容量ブロードバンド設置	敷地内にできる限りの緑地を設け景観に配慮
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性能等級 等級5、エコジョーズ(潜熱回収型給湯)、LED照明などで省エネに配慮	ノンフロン断熱材を採用して環境に配慮	駐車場の出入を円滑にし、渋滞がおこらないように配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される